

令和8年度 第1回鶴見南小学校学校協議会

令和8年5月20日(水)

午後 7 時 0 0 分 ~

鶴見南小学校 会議室

1. はじめのことば

2. 会長挨拶

3. 学校長挨拶

4. 議 事

(1)「運営に関する計画」について 資料1

(2)「校長経営戦略予算」について 資料2

5. 終わりのことば

< 予 定 >

第2回 11月 6日(金)午前9:30~ (オープンスクール)

第3回 2月17日(水)午後1:15~(学習参観)

※会議後、子どもたちの様子を見ていただく予定です。

令和8年度

「運営に関する計画」



大阪市立鶴見南小学校

令和8年4月

大阪市立鶴見南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、教育目標「賢く 優しく 健やかに」のもと、教職員・保護者・地域関係者と連携し、教育活動を展開している。

「安全・安心な教育の推進」に関して、児童は本校の教育活動について、一定の肯定感を持っている。また、児童の自己肯定感は比較的高い。一方で、全校で1割程度の児童が、学習活動になじめず、本校の教育的価値を見いだせていない。

「未来を切り拓く学力・体力の向上」に関して、令和7年度全国学力・学習状況調査の結果より、本校の平均正答率是对全国比で国語1.06、算数1.08であり、全国平均を上回っている。また、標準偏差も全国と比べ小さくなっており、学力差は改善傾向にある。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果より、「運動やスポーツをすることが好きか」に対して肯定的に回答する児童の割合は、全国平均を下回っており、体力合計点が男女ともに全国平均を下回っていることと関連していると考えられる。

「学びを支える教育環境の充実」に関して、1人1台学習者用端末の週3回以上活用したと肯定的に回答する児童の割合は8割近いものの、『学習者用端末ガイドブック』におけるフェーズ3レベルの充実が求められる。

教員の働き方改革に関連して、本校の教員構成は、教職経験年数10年未満が6割以上在籍し、その資質向上が喫緊の課題である。また、教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間が月30時間を超過する教員も一定数存在する。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R7:87.2%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R7:84.1%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.2ポイント向上させる。

令和7年度大阪市小学校学力経年調査各教科における平均正答率の対全国比

学年	国語	算数
第3学年(現第4学年)	1.1	1.1
第4学年(現第5学年)	1.1	1.0
第5学年(現第6学年)	1.1	1.2

- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R7:73.2%)
- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(R7:84.8%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。(R7:59.6%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を90%以上とする。(R7:79.5%)
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。(R7:17時間51分)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(R7:87.2%)
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7:84.1%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。(R7:1.1)
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.05ポイント向上させる。(R7:1.2)
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。(R7:73.2%)
- 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を86%以上にする。(R7:84.8%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を61%以上にする。(R7:59.6%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を85%以上とする。(R7:79.5%)
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。(R7:17時間51分)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市内立鶴見南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【3つの最重要目標】 【安全・安心な教育の推進】 ● 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(R7:87.2%) ● 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。(R7:84.1%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 1-1 いじめへの対応】 指標 ● いじめの実態把握のため、学期に1回いじめアンケートを実施する。 ● 認知したいじめ事案については、100%の解決を図る。	
取組内容②【基本的な方向 1-6 安全教育の推進】 指標 ● 不審者対応、火災、地震・津波災害に対する児童の避難訓練を各1回実施する。	

取組内容③【基本的な方向 2-3 人権を尊重する教育の推進】	
指標 ● 学校行事と連携させた平和に関する学習を、年1回実施する。	
取組内容④【基本的な方向 2-4 インクルーシブ教育の推進】	
指標 ● 教育活動に配慮を要する児童に関する児童理解研修を、毎月1回実施する。	
取組内容⑤【基本的な方向 2-5 多文化共生教育の推進】	
指標 ● 日本の文化や伝統、世界における多様な文化を理解する教科横断的な学習を、各学年で年1回実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立鶴見南小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【3つの最重要目標】 【未来を切り拓く学力・体力の向上】 ● 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.05 ポイント向上させる。(R7:1.1) ● 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.05 ポイント向上させる。(R7:1.2) ● 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。(R7:73.2%) ● 小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 86%以上にする。(R7:84.8%) ● 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 61%以上にする。(R7:59.6%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 4-2 「主体的・対話的で深い学び」の推進】 指標 ● 教科教育研究を進め、各学年で年1回研究授業(学習指導案・研究討議会を含む)を全市もしくは校内で公開する。 ● 理科の授業において、観察・実験にかかる体験的調査活動を、単元に1回以上実施する。	
取組内容②【基本的な方向 4-3 英語教育の強化】	

指標 ● 全学級で、月初めの第1週を除き、1回 15分×週2回の「小学校低学年からの英語教育」を実施する。	
取組内容③【基本的な方向 5-1 体力・運動能力向上のため取組の推進】	
指標 ● 体力向上に関する研修会を年1回実施する。	
取組内容④【基本的な方向 5-2 健康教育・食育の推進】	
指標 ● 給食指導に関する研修会を年3回実施する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立鶴見南小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【3つの最重要目標】 【学びを支える教育環境の充実】 ● 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を81%以上とする。(R7:79.5%) ● 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月20時間以下とする。(R7:17時間51分)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 6-1 ICTを活用した教育の推進】 指標 ● 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を81%以上とする。 ● 指導事例を活用した情報モラル教育を、年1回以上実施する。	
取組内容②【基本的な方向 7-1 働き方改革の推進】 指標 ● 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を80%以上にする。	

取組内容③【基本的な方向 7-2 教員の資質向上・人材の確保】 指標 ● 基礎的・基本的な事項や実践的な指導技術力について研修する場としての「スキルアップ研修会」を月2回実施する。 ● 学校運営にかかる研修の場としての「中核教員研修会」を年1回実施する。	
取組内容④【基本的な方向 8-3 学校図書館の活性化】 指標 ● 児童が活用しやすく、読書意欲が高まる学校図書館運営に努め、週1回は司書により学校図書館を開館する。 ● より児童が図書に親しめるよう、学期に1回の蔵書整理を行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ

A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組みず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は決算
報告時に記載（配付
申請時は記載不要）

【様式1】

令和8年度 校長経営戦略支援予算学校配付配付申請書

(校園コード)

※校園コードを必ず入力してください。

学校名

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

1 配付額 円 → 決算額

2 配付上限額

学校配当	学級数	学級配当
350,000	16学級	29,000
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。		
配付上限額	959,000	

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

学校園の年度目標

○年度末の校内調査において、「いろいろな国や地域の文化や伝統などを学ぶ機会がある」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上の高水準にする。

○年度末の校内調査において、「学校では、命を大切に、『平和』について学ぶ機会がある」の項目について、肯定的に答える児童の割合を90%以上の高水準にする。

○年度末の校内調査において、「外国語の学習が楽しい」と答える児童の割合を87%以上にする。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

①指導計画に基づき、全学年で平和教育を実施する。

②日本の文化や伝統、自然、産業等についての体験的な学習を推進する。

③世界における多様な文化を学ぶ機会を設定する。

④英語教育を中心に、主体的・対話的で深い学びの実装をめざしたカリキュラム・マネジメントに基づき、自分の考えを広げ深める子どもを育てる。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

①指導計画に基づき、全学年で平和教育を実施する。

②日本の文化や伝統、自然、産業等について体験的に学習する機会を含め、世界における多様な文化を学ぶ機会を各学年で年に1回は実施する。

③教科教育研究にかかる全市公開の研究授業を1回以上実施する。

④全学級で、月初めの第1週を除き、1回15分×週2回の「小学校低学年からの英語教育」を実施する。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

令和3年度からの英語教育研究及び令和5年度からのカリキュラム・マネジメント研究の成果を生かし、今年度は主体的・対話的で深い学びの実装に向けたカリキュラム・マネジメントを推進し、教科教育研究におけるICT活用の充実や平和教育、世界遺産・日本の文化・自然についての体験的学習、多文化共生教育の推進に取り組む。

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【2-3 人権を尊重する教育の推進】					達成
【基本的な方向2-3 人権を尊重する教育の推進】					
・全学年で平和教育を実施					
①予算内訳					
07-1	修学旅行看護師報償費	@ ¥70,000			
(内訳)	謝礼	¥22,000	×	2日	= ¥44,000
	宿泊費				¥6,000
	旅費				¥20,000 (バス+電車+自宅-学校往復)
	合計				¥70,000

達成

(2)取組内容【2-5 多文化共生教育の推進】

【基本的な方向2-5 多文化共生教育の推進】

日本の文化や伝統、自然、産業等についての体験的な学習を推進
世界における多様な文化を学ぶ機会を設定

①予算内訳

07-1	林間学習看護師報償費	@ ¥82,000				
	(内訳)	謝礼	¥22,000	×	3日	= ¥66,000
		宿泊費				¥6,000
		旅費				¥10,000 (バス+自宅-学校往復)
07-1	そろばん講師謝礼	@ ¥4,300	×	3時間	=	¥12,900
07-1	国際理解教育講師謝礼	@ ¥4,300	×	4時間	=	¥17,200
12	芸術鑑賞	@ ¥400,000	×	1日	=	¥400,000
					合計	¥512,100

②決算内訳

(3)取組内容【7-5 カリキュラム・マネジメントの推進】							達成
【基本的な方向7-5 カリキュラム・マネジメントの推進】							
英語教育をコアとしたカリキュラム・マネジメントの推進							
①予算内訳							
13-1	英語学習ツールBASE in OSAKA学習者用	@	¥990	×	147名	=	¥145,530
17-2	電子黒板	@	¥231,370	×	1台	=	¥231,370
						合計	¥376,900
②決算内訳							

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。